

## 令和8年度 第2回 碧南市地域自立支援協議会 会議録

### 1 日時

令和8年8月31日（月）午前10時00分から午前11時30分まで

### 2 場所

へきなん福祉センターあいくる デイルーム

### 3 出席者

#### (1) 委員 20名

碧南市社会福祉協議会 伊藤 正博（会長）

碧南市手をつなぐ育成会 三浦 志朗（職務代理）

日本福祉大学教授 青木 聖久

碧南市身体障害者福祉協会 鈴木たか子

碧南市民生委員児童委員協議会 小澤 昇

NPO法人ハートフルあおみ（あおみJセンター所長）水野 啓章

刈谷公共職業安定所碧南出張所 辻 辰憲

愛知県衣浦東部保健所 新美 萌子

愛知県立にしお特別支援学校 早川 浩史

碧南市小中学校校長会 石原 竹春

親子の会「カラフル」 鈴木 由記

身体に障害のある子の親子の会「すまいる」 永井 美幸

ほっとまんまピアサポーター 杉浦 有美

碧南市商工会議所 亀島 弘樹

スギ製菓株式会社 永坂 峰広

刈谷病院 水野 美香

サンフレア 高松 有美

就労センターオアシス碧南 大谷 大

WHJ相談支援センターメビア 浅野 将克

ARTIST JAPAN 森脇 友理

#### (2) 事務局

福祉部長 鈴木 美奈子

福祉課長 磯貝 浩

福祉課社会福祉係主事 中村 一輝

福祉課社会福祉係主事 矢野 友也

(3) 基幹相談支援センター（碧南市社会福祉協議会）

地域福祉課地域福祉係長 古川 裕隆  
地域福祉課地域福祉係主査 小島 誠司  
地域福祉課地域福祉係主査 久村 明弘  
地域福祉課地域福祉係主事 坪井 優佳  
地域福祉課地域福祉係主事 長谷川 祥子  
地域福祉課地域福祉係主事 天野 好美  
地域福祉課地域福祉係主事 角谷 有花  
地域福祉課地域福祉係主事 大野 聖士  
地域福祉課地域福祉係主事 田島 十和  
地域福祉課地域福祉係主事 榊原 陽太

4 傍聴者

0人

5 議題

(1) へきなん障害者ハーモニープランについて

ア 基本理念について

- (ア)（前回）「互いに尊重し だれもが支え合うまち へきなん」
- (イ)「だれもが笑顔で安心して暮らせるまち へきなん」
- (ウ)「すべての人が、夢を育み、安心して暮らせる共生のまち へきなん」
- (エ)「だれもが互いにその個性や能力を認め合い、共生するまち へきなん」
- (オ)「だれもが参加し 安心して暮らせる共生のまち へきなん」

イ へきなん障害者ハーモニープランの計画骨子案について

議事の要旨

(1) あいさつ（伊藤会長）

(2) 議題

ア 基本理念について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

<主な意見・質疑>

A委員：基本理念は計画改定のたびに変更しているのか。

事務局：毎回変更をしているかは不明だが、今回は変更しても前回と同じでもどちらでも良いと考えている。前回と同じ理念のほうが市民の皆様にとって分かりやすく馴染みがあるということであれば、無理に変更する必要はないと考えている。

B委員：こどもにもわかりやすい理念だと良い。

C委員：ひらがなを使用し、障害者にもわかりやすくすべき。

また、計画ごとに理念を掲げているが、達成できているのかはどのように判断すればよいか。

事務局：ご指摘のとおり理念に対する達成度がわかりづらいところがある。第4期は達成したかどうか分かりやすい指標を設けられると良い。各委員がおっしゃるようにわかりやすい言葉は重要。

D委員：数年で達成することは困難かと思うので、基本理念は変えなくても良いのでは。こどもや障害者にもわかりやすい言葉を使用することは賛成。

会 長：次回の協議会時には、事務局が自信をもって提案できる理念を示してほしい。委員の皆様には積極的なご意見をお願いしたい。

E委員：ハーモニープランに理念あることを知らなかった、どの候補も素敵な理念、簡潔な優しい言葉が使用されていると感じるが、理念はどのような場面で使用されるのか。

事務局：パンフレット等に使用する。積極的にPRしていきたい。

F委員：ハーモニープランの理念を決める際に、委員に対して意見を求められたことが初めてだと思う。計画策定に関わる方のモチベーションにつながると良い。

イ へきなん障害者ハーモニープランの計画骨子案について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

<主な意見・質疑>

特に意見・質疑等なし。

ウ 学識経験者（日本福祉大学 青木 聖久 教授）

4点のまとめをしたい。

1. 希望志向、夢があれば頑張れる。
2. チャレンジが大事。わくわくできる人生が良い。
3. うれしいことを報告できる人や輪を作る。困った時はもちろんだが、良い話を共有できると良い人生になる。
4. 知ることの大切さ。日本の全人口の1割が手帳を所持していたり難病を抱えている。現状を知っておくことが大切。

6 その他

事務局が会議資料に基づき、次回の会議予定等を説明した。

以上